

※製品名は各社の商標、または登録商標です。

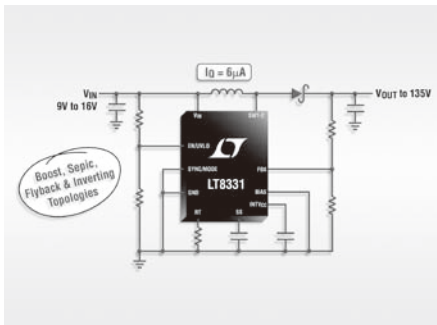
アナログ・デバイスズ株式会社

TEL : 03-5402-8270 FAX : 03-5402-1074
www.analog.com/jp

DC/DCコンバータ [LT8331]

“500mA、140Vスイッチ内蔵、電流モード昇圧”

4.5~100V入力で動作する電流モードDC/DCコンバータで、140V、0.5A SWを内蔵する。独自の1ピン帰還構成により、外付け部品数を削減し、昇圧、SEPIC、Flybackまたは反転構成が可能。Burst Modeにより、消費電流が6 μ Aで、極少の出力電流でも高効率を維持しながら、出力リップルを20mV未満に抑えられる。SW周波数は100~500kHzで設定可能。パッケージは熱特性を改善し高電圧での使用を考慮したMSOPで、PCBサイズを最小に。産業/輸送/航空宇宙機器等で使われる広範囲の入力源での使用に最適。



株式会社アルゴ

TEL : 06-6339-3366 FAX : 06-6339-3365
http://www.argocorp.com

全方位レーザー LiDARイメージングユニット [Velodyne VLP-32C]

Velodyne社のVLP-32Cは、32個のレーザー送受信センサ(Class 1 Eye Safe)を内蔵した全方位LiDARレーザーライダー・イメージングユニットです。1秒間に約600,000ポイントを測定し、測定距離は約200mまで対応しております。小型化と高解像度化を両立したリアルタイム3Dセンサで、次世代の自動運転をはじめとする先端運転支援システムに最適です。

また、128本のレーザーで超高密度にデータ取得できる最新LiDARセンサ[VLS-128]や、車両に埋込み可能なサイズまで小型化した回転機構のない新型LiDARセンサ[Velarray]を発売予定です。



株式会社 OTSL

TEL : 052-961-1010 FAX : 052-961-8818
http://www.otsl.jp/

LiDAR専用3D CG MAPを用いた [Real-Time LiDARシミュレータ]

世界初のリアルタイムかつミリ波レーダ専用の3D CG MAPをもつシミュレータAMMWRと同様ALRシミュレータは、シナリオ作成や動画部分にEPIC Games社のUnreal Engineを用いることにより、動的にリアルタイム性をもつシミュレーションが可能になりました。

LiDARに用いられる近赤外線レーザーの反射特性を3D CG MAPにもたせることにより、LiDARのレーザーが反射する物体の材質、色の特性を正確にシミュレーションが可能で、従来のもより高精度なシミュレーションが行えます。



株式会社システムズエンジニアリング

TEL : 03-3946-4993 FAX : 03-3946-4983
http://www.systems-eng.co.jp/

反射材料のコーティングサービス 「パーマフレクト」



<特長>

- ・スペクトラロン®のLabsphereが開発
- ・洗浄(水・酢酸)可能 On-site利用
- ・反率指定可能 GreyTargetSolution
- ・任意形状 塗布可能 Manikin等

<アプリケーション>

- ・光学式カメラセンサ校正用基準板
- ・車載用LiDAR、ADASセンサの校正
- ・ハイパースペクトルカメラのオンサイトキャリブレーションに最適
- ・ドローンによる地表の反射率(アルベド測定)特性観察
- ・医療器具の校正

ジック株式会社

TEL : 03-5309-2115 FAX : 03-5309-2113
http://www.sick.jp support@sick.jp

マルチレイヤースキャナ 「MRS1000」



“屋外—第4の次元”

MRS1000は、SICKが新たに開発したマルチレイヤースキャナで、正確かつ確実に物体を測定することができます。雨、埃、霧など悪条件の環境下でも、トリプルエコーを用いたHDMM+テクノロジーにより、対象物の正確な検出と測定結果を保証します。屋内、屋外の幅広い用途に対応するオールラウンダーな3D-LiDARセンサとなっております。

ジック株式会社

TEL : 03-5309-2115 FAX : 03-5309-2113
http://www.sick.jp support@sick.jp

マルチレイヤースキャナ 「MRS6000」



“位置の増加により、目に見える違いを発揮”

3D-LiDARセンサMRS6000は、高密度のスキャンポイントと120度の開口角で、垂直方向24ライン分(15度)を確実に検出します。特殊なミラー技術により、スキャンフィールドの安定性が向上しております。マルチエコー技術を採用したこのセンサでは、雨、埃、霧などの悪条件下でもスキャンできるだけでなく、ポイント密度も倍増します。この特性は、特にシームレスな3Dポイントクラウドデータ作成に適しており、これを使用してユーザが要望される数多くのアプリケーションを実現することができます。

スタンレー電気株式会社

TEL : 0463-80-3747 FAX : 0463-80-1963
http://www.stanley.co.jp

外乱光に強い 「TOF方式距離画像センサ」

独自の外乱光除去技術を用い、真夏の炎天下でも測距可能なTOF方式距離画像センサを開発しました。

Flash LiDAR同様、リアルタイムにポイントクラウド情報の取得が可能です。すでに民生向けに量産中ですが、車両への搭載に向けて、さらなる小型軽量化、省電力化、低価格化の開発を進めています。なお、簡易評価ができる評価キットを販売中です。

車載搭載例(ヘッドランプ内蔵)



簡易評価キット



パイオニア株式会社

TEL : 03-6634-8777
http://autonomousdriving.pioneer/

MEMSミラー方式 「3D-LiDAR」

パイオニアは、一般道LV3以上の自動運転社会の実現に向けて、光学技術の知見を活かしたMEMSミラー方式の車載用3D-LiDARを開発しています。開口部の小さいMEMSミラーとレンズを組み合わせ、光学設計を最適化することにより、車載用途での実用化を可能にします。用途やシステム構成に合わせて選択できるよう、望遠・標準・広角・準広角の4タイプのセンサと2種類のスキャン方式の組み合わせで全方位のセンシングをカバー。今秋には新たなサンプル出荷も予定しており、2020年代の量産を視野に、小型／軽量化と低コスト化に向けた開発を進めています。

